

◎古布庄地区公民館平成29年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	130 団体 のべ 1,653 人 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 71 回 のべ 2,346 人参加 (詳細は別紙「平成29年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 関係者(職員・役員)の目的・目標理解と意欲的取り組み 	目的・目標を念頭におき、年間を通じて取組んだ。公民館運営協議会委員など役員の中なかでも共通理解するよう意見交換した。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	<ul style="list-style-type: none"> 住民学習ニーズの把握及び事業への反映 地域課題、生活課題、現代的課題の事業への反映 発達課題、家庭教育、奉仕・体験活動に関する学習機会設定 事業への住民参画推進 	地域こども教室、成人教室の内容を再検討し、公民館事業の参加率の低い年代に公民館を知ってもらう・参加してもらう取り組みを行った。 また、下郷・上郷・古布庄共催事業の実施や、古布庄地域振興協議会との共催事業の実施も行い、地区を越えての学習活動、関係団体との連携をとることができた。	B
より自主的 なまなびの ススめと広 がり	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営学習グループづくり推進 住民の自主学習支援 学習リーダー、講師育成 学習成果発表機会設定(作品展示など) 関係団体と連携しての事業実施 	関係団体と連携をとりながら、事業の精査が必要。 公民館祭において展示・発表の機会を設けることにより、各集落のまとまりを促すきっかけとしているが、集落単位での参加が難しい現状になってきているので、内容や実施形態の再検討が必要。また、二人三脚駆伝も地区一体となり運営することができたが、人材不足は否めない。	B
まなび情報 提供と職員 研修	<ul style="list-style-type: none"> 講座開催、学習グループの情報提供 図書など資料の提供 職員研修(町教委主催など)への参加と自己研鑽 	公民館だより発行(6回)、ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努めた。 県(3回)・町(5回)・郡公連(3回)主催の研修に参加し、研鑽を続けた。	A
利用者目線 のまなびの 館づくり	<ul style="list-style-type: none"> 館管理、貸館、不在表示の適宜実施 利用者への挨拶励行など、接遇改善 	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らない様に努めた。清掃に努め、「来たときよりも美しく」を合言葉に住民啓発を実施、明るい挨拶と歯切れの良く、かつ優しい対応に心がけた。	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習拠点として全体総括 次年度に向けての改善点 	講座リストの活用や、地域課題や地域の人材の発掘を行っていきたい。幅広い年代に公民館事業にかかわってもらう工夫を考えていく。	合計 17点 (20点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

○平成29年度事業実績

古布庄地区公民館

事業名	内 容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)	
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年8回開催・のべ49名出席
	教養体育部長会	教養体育部長で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年9回開催・のべ76名出席
	実行委員会(合同会)	運動会・公民館まつり・二人三脚駅伝などの公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する。各団体代表(区長・教養体育部・運営協議会委員・女性部長など)	各団体との連携による効果的な事業実施	年6回開催・のべ120名出席
	せいごうキッズ検討会	小学校・公民館でせいごうキッズ内容等について協議・実践する	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	年5回開催・のべ33名出席
	女性部長会	女性部長、各種女性団体代表者で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う	地区女性活動の活性化と女性リーダーの育成	年2回開催・4名出席
	人権・同和推進教育	地域における人権・同和教育の推進の理解と実践を進める ・評議員会 ・総会 ・小地域懇談会事前研修会	地域住民に正しい認識を広げ差別のない明るい町づくりをめざす	年3回開催・のべ70名出席
女性教室	出張女性教室(各部落女性部)	手芸・料理・健康教室など各部落女性部で内容を検討して学習活動を実施する	女性の地域での継続的活動を促進し、趣味や手芸などの出前講座を企画し、共通の課題について研修を深める	4/16別宮・13名 4/25下三本杉・13名 10/22宮場・7名
成人教室	ジビエ料理とワインを楽しむ大人の夜会	ワインの飲み方、テーブルマナーなどの講習を受けたあと、簡単なジビエ料理をつくり試食する	テーブルマナーの講習とジビエ料理への関心を深める	7/8・9名
	木工教室～時計作り～	道具の使い方を学び、時計を作る	木の温かみや木工の楽しさを体験する	10/21・10名
	包丁とぎ体験教室	包丁を研ぐ手順を学ぶ	普段使う包丁の手入れ方法を学ぶ	12/14・13名
	古着でリフォーム教室	使わなくなった古着をリフォームしベストや座布団カバーを作成	古着を有効活用しながら、手芸の楽しさを知る	3/1・6名
文化教養講座	心とカラダの健康教室	いつまでも元気で生き生きと暮らせるための講座 ①心とカラダの健康寿命を延ばそう(講演とストレッチ) ②認知症予防の講演と体操	運動習慣の定着を図る。健康づくりの推進。	6/16・32名 10/13・22名
	視察研修会	足立美術館鑑賞	文化財や現代美術の鑑賞をすることにより芸術に関する学習を深める	6/25・26名
	特殊詐欺を防ぐための実践講座	消費生活センター指導員さんの講義と寸劇による被害例の紹介と対処法	県内で発生している特殊詐欺の実例をもとに、被害にあわないための理解を深める	11/6・25名

高齢者教室	高齢者グラウンドゴルフ大会	地区内の高齢者が集まり、グラウンドゴルフを楽しむ	高齢者同士の交流を図り、住みよい地域づくりを推進する	6/3・58名 10/31・50名
地域子ども教室	せいごうキッズ	石窯でピザ作り体験	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり (下郷・上郷・古布庄共催)	8/8・27名
		クリスマスケーキ作りと木ころんで遊ぼう		12/5・22名
	エンジョイ SCHOOL	親子でスイーツクッキング	地域での居場所づくりの支援や子どもの健全育成に努める	5/20・14名
		伝統文化・お茶会体験		6/10・9名
サバイバル体験		9/2・48名		
お楽しみクリスマス会	12/17・17名			
社会体育事業	地区グラウンドゴルフ大会	スポーツを通じて住民相互の親睦を深める。健康、体力の増進を図る。	いつでもどこでも、だれにでも出来るスポーツ・レクリエーションを広く普及し機運を醸成する	雨のため中止
	ソフトバレーボール大会			6/18・約130名
	町民運動会			10/1・約300名
	卓球大会			2/4・約150名
地域活性化事業	古布庄まつり2017	住民作品展、出店、かくし芸大会	地域の魅力を発信すると共に、住民同士の親睦・交流を図り、活力ある地域づくりを目指す	11/11・11/12 約400名
	琴浦町巨木の郷 二人三脚・三人四脚 駅伝大会	一人走、二人三脚、三人四脚でタスキをつなぐ駅伝大会		11/12・約400名
人権・同和推進教育	地区人権・同和教育推進研究協議会	人権・同和教育部落懇談会 障がいのある人も暮らしやすいまちづくり	一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまちづくりをめざす	12集落・162名
鳥取大学連携事業	たのしいすぎ会	住民への健康測定、体験教室 学生との座談会、避難食の試食	地区住民の健康維持や生活の安全・安心にかかわる取り組みを通して、住民・学生双方の学びを深める場とする。また日常から顔と顔の見えるつながりづくりのきっかけとし防災活動の啓発を行う	8/18・31名
自主学習活動支援	自主運営教室活動支援	自主運営学習グループ・団体に対して、大会・発表機会・各種助成金などの情報提供などの活動支援を行った。 ・いけばな ・俳句の会「せせらぎ」 ・パッチワーク ・リフォームの会	住民の自主的な学習活動支援	通年